

会場周辺を練り歩いた子どもみこし



大きな掛け声でみんなを元気に 第28回フェスタなかやま

10月22日、「第28回フェスタなかやま」が社会教育集会場でありました。コロナ感染拡大防止のため規模を縮小して開催。会場周辺をスタートした中山小学校の児童による子どもみこしは、元気な掛け声を響かせながら、地域を練り歩きました。6年生の古川実さんは、「みこしがキラキラに光るように工夫した。みんなと協力して大きな声を出して楽しかった」と満足そうな表情で話しました。また、会場では、小中学生の学習発表や中山ソーランが披露され、参加者は熱心に見入っていました。

大きなだるまを協力して運ぶ1年生



ごろの練習の成果を発揮 六合小学校スポーツフェスタ

六合小学校で11月13日、スポーツフェスタが開催されました。これは令和2年度から運動会に代わって実施されているイベント。全校児童121人が赤組と白組に分かれ、だるま運びや棒引き、選抜リレーなどで競いました。当日は途中雨が降ったものの、無事最後まで進行。選抜リレーで白組アンカーを務めた同校6年生の江崎漣音さんは「リレーでは1位になれたけど、総合得点では赤組に負けてしまった」と悔しそうでした。

マフィンやプリンを買い求める長い行列ができた



地元で採れた食材を満喫 第7回むつごろうランドにぎわいイベント

柳川むつごろうランドで10月16日、柳川むつごろう会主催の第7回にぎわいイベントがありました。会場ではスイーツコーナーを使ったマフィンやプリン、ピザ窯でのピザ作り、両開きのぶどうを使ったスムージーの販売に長蛇の列ができていました。市内から訪れ、プリンを食べた家族は「コーンの味が濃厚でおいしい。また食べたい」と話してくれました。他にも会場では、グランピング見学、ドローン操縦体験などが行われ、家族連れなど約1000人の参加者でにぎわいました。

顔出しパネルは改札横の自販機付近に設置



観 光客に宗茂と閻千代をPR 立花宗茂と閻千代の顔出しパネル贈呈式

西鉄柳川駅の改札口付近で10月13日、「立花宗茂・閻千代」顔出しパネル贈呈式が行われました。このパネルは大河ドラマ招致活動の一環として、(公財)大牟田法人会柳川支部が作ったもの。寄贈されたパネルは、同駅と立花家史料館に設置されます。同支部の山田良治支部長は、「駅利用者の目にとまりやすいところに設置しているので、市民や観光客にぜひ利用してほしい。これをきっかけに大河ドラマが実現したらうれしい」と話しました。



【上】幻想的な雰囲気の中、沖端地区を出発する白秋祭水上パレード【下】どんこ舟の上から関係者が見守る実施されたローターアクトクラブの認証伝達式



3人がかりで琴大龍を押し出そうとする児童たち



柳 川の相撲文化を受け継いで 秀ノ山親方指導による相撲教室開催

雲龍の郷相撲ドームで10月23日、市実行委員会による相撲教室が行われました。柳川の相撲文化を絶やさないようにと、終了した雲龍相撲大会に代わって企画された本イベントに、当日は市内から39人の小学生が参加しました。教室では、秀ノ山親方解説のもと、幕下の琴大龍の実演と一緒に四股踏みや股割りなどを体験。最後には小学生との取り組みもありました。参加した小学生は口を揃えて「押しでも全然動かなかった。岩みたい」と驚いていました。

まちかどレポート

身近な話題などお知らせください。情報をお待ちしています。
【問】企画課広報広聴係 ☎77・8425

パレードで白秋没後80年を偲ぶ 前日はローターアクトクラブがパレード

詩聖、北原白秋の命日11月2日を挟んだ3日間、白秋祭水上パレードが開催されました。新型コロナの影響で、3日間開催するのは3年ぶり。参加者は、白秋詩碑苑で朗読や合唱を鑑賞した後、どんこ舟で沖端地区を出発。終点の柳川橋へと向かう途中、市民らによる囃子や琴、太鼓の演奏などで乗舟客をもてなしました。また、10月31日には社会奉仕団体「柳川2020ローターアクトクラブ」の認証伝達式とパレードがありました。ハリウッドワールド美容専門学校が会員となっている同クラブは、単一クラブでは世界最大規模。からたち文人の足湯公園での認証伝達式の後、全国から集まった関係者463人が約40艘に分乗して、水上パレードを楽しみました。

柳川産ナス入りスパゲティをおいしそうにほおぼる児童



地元の農作物を子どもたちに 市内小中学校に柳川産ナス156kg提供

10月26日、市内全ての小中学校の給食に柳川産ナスを使ったスパゲティが登場しました。地元で採れた農作物を子どもたちに食べてもらい、地産地消を進めようと、JA柳川と市で構成する農業振興活性化会議が取り組んでいるもの。この日提供されたナスは、市内全校分合わせて156kgにもなりました。矢留小学校で給食委員を務める5年生の小松琉暉さんは「ナスが好きなので、お母さんにも作ってほしい」と家に帰ってリクエストすると話してくれました。